MITSUBISHI

三菱車両用後方確認カメラシステム
モニタ据置金具
形名 K-7200
取扱設置説明書

正しく安全にお使いいただくため、ご使用の前にこの取扱設置説明書を必ずお読みください。その後大切に保管し、必要なときお読みください。

1．安全のために必ず守ること

ご使用の前にこの欄を必ずお読みになり正しく安全にお使いください。
ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。

●本文中に使われる図記号の意味は次のとおりです。

⃠	禁止	❗	指示を守る

⚠ 警告　誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性のあるもの

強度が十分なところに取り付ける ❗
十分な強度が確保できない場所には取り付けないでください。また、汚れた面やレザーワックス等の表面保護材が塗布されている面にはそのまま取り付けないでください。落ちたり、倒れたりしてけがや事故の原因になります。

エアバックの妨げにならないところに取り付ける ❗
エアバックが装着されている車両に取り付ける場合は、絶対にエアバックのカバー部分および作動時の妨げになるような場所にモニタ据置金具を取り付けないでください。万一の作動時に正常な機能を発揮できなくなり危険です。

安全なところに取り付ける ❗
車の運転や乗降のじゃまにならない場所、また急停車等でも、同乗者に危険を与えない場所に選んで取り付けてください。
事故やけがの原因になります。

ポリ袋で遊ばない ⃠
幼児の手の届くところに置くと、頭からかぶるなどしたときに、口や鼻をふさぎ窒息し、死亡する恐れがあります。

視界の妨げにならないところに取り付ける ❗
前方視界や車両のフロントアンダーミラーおよびサイドミラーの視野に影響が無い位置にモニタ据置金具およびモニタを取り付けてください。視界の妨げになると事故の原因になります。

ツマミやねじはしっかり締め付ける ❗
締め付けが弱いと走行時の振動でツマミやねじが緩み、モニタの角度が変わったり、モニタが外れる恐れがあり、けがや事故および故障の原因になります。

適用モニタ：CM-7200（別売りモニタ）

本書に記載の内容は、予告なく仕様の変更、改廃を行う場合があります
2007年 5月 作成
U871F186001A
SM-Y7845A
©2007 MITSUBISHI ELECTRIC CORPORATION ALL RIGHT RESERVED

⚠ 注意　誤った取扱いをしたときに、傷害または車両などの損害に結びつくもの

モニタの取扱説明書をよく読む ❗
正しく安全にお使いいただくために、ご使用の前に必ずモニタの取扱説明書をよくお読みください。

開梱したら員数を確認する ❗
開梱したら、直ちに同梱品の員数確認をしてください。

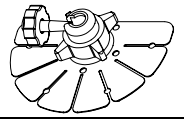
車のメインスイッチを切る ❗
作業の前に必ず車のメインスイッチを切ってください。

付属のネジで固定する ❗
モニタ据置金具の固定は両面テープだけではなく付属のタッピングネジ9本を使用してしっかりと固定してください。

温度が下がってから操作する ❗
直射日光が長時間当っていた場合などは金属部分が高温になり、やけどをする可能性があります。角度調整は温度が下がってから操作してください。

熱の影響を受けやすい場所 雨水のかかる場所は避ける ❗
熱の影響を受けやすいヒーターの吹き出し口の近くや、ドア近くの雨水のかかりやすい場所は避けてください。

2．同梱品

①モニタ据置金具　1個	②タッピングねじ（5X14）9個	③取扱設置説明書（本書）　1部
		

チェック	

3．使用工具類（次の道具を用意してください）

●＋ドライバー（呼び2）　●プライヤー　●布　●中性洗剤　●水
●ウォーターポンププライヤー

チェック	

4．取付作業前の準備

1）気温が低い（20℃以下）場合は、両面テープの初期接着力が弱まります。ヒーターで車内を暖めてから貼り付けてください。
2）貼付場所の汚れはよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れが著しい場合は、薄めた中性洗剤をしみこませた布で軽く拭き取り、さらに水拭きのうえ、乾燥させてください。
3）モニタ据置金具を貼り付ける部分にレザーワックス等の表面保護剤が塗布されている場合は、両面テープの性能が著しく低下しますので、中性洗剤を利用して貼り付け面をきれいに拭き、完全に乾いてから貼り付けてください。両面テープは一度はがすと再度接着はできませんのでご注意ください。

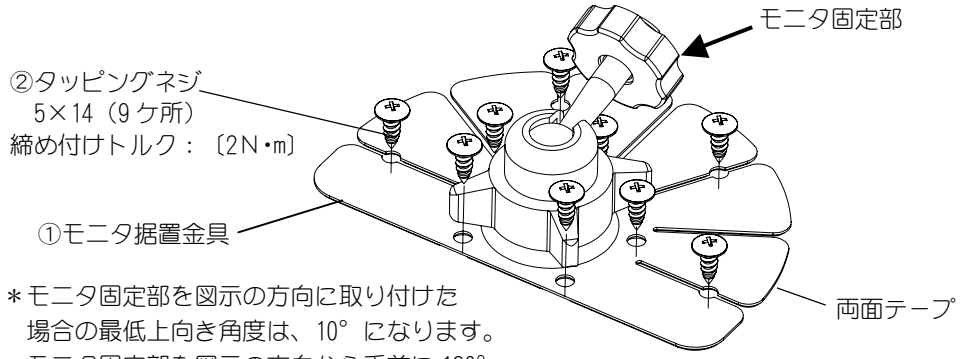
5．取付要領

1）ダッシュボード上に①モニタ据置金具を固定します。

（1）①モニタ据置金具の固定位置を決めます。

（2）①モニタ据置金具の両面テープ剥離紙をはがして、モニタ据置金具をダッシュボードに貼り付けます。

（3）付属の②タッピングネジ 5×14（9 ケ所）で必ず固定してください。

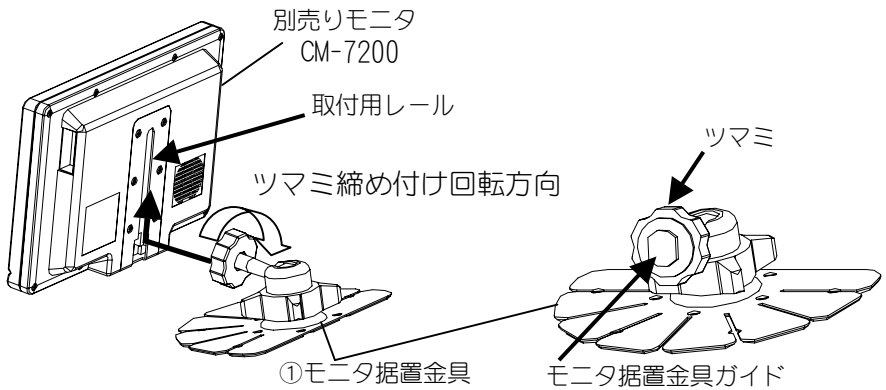


＊モニタ固定部を図示の方向に取り付けた場合の最低上向き角度は、10°になります。
モニタ固定部を図示の方向から手前に 180°回転させた場合の最低上向き角度は 0°になります。

チェック	

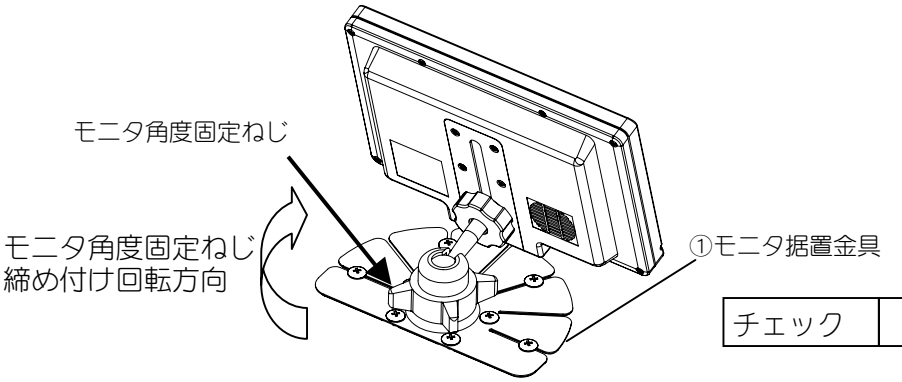
2）別売モニタを①モニタ据置金具に固定します。

モニタ裏側の取付用レールに①モニタ据置金具のガイドを差し込み
ツマミを手で締め、プライヤーでツマミを挟んで増し締めして固定します。
（ツマミ締め付けトルク：2N・m）



チェック	

3）別売モニタの角度を調整し、モニタ角度固定ねじを手で締め、ウォーターポンププライヤーでモニタ角度固定ねじを挟んで増し締めして固定します。
（モニタ角度固定ねじ締め付けトルク：5.3N・m）
モニタを運転席から見やすい角度に調整してください



チェック	

⚠
- ツマミはモニタがぐらつかないようにプライヤーでしっかり締め付けてください。
- モニタ角度固定ねじはウォーターポンププライヤーでしっかり締め付けてください。
- 前方視界や車両のフロントアンダーミラーおよびサイドミラーの視野に影響が無い場所にモニタ据置金具を取り付け、モニタ位置を調整してください。

6．制約事項

本モニタ据置金具(K-7200)を使用した場合、モニタ(CM-7200)とを組合わせたときの耐振性能は、JIS D 1601 段階 30（30m/s^2 5～100Hz)となります。

7．外形図